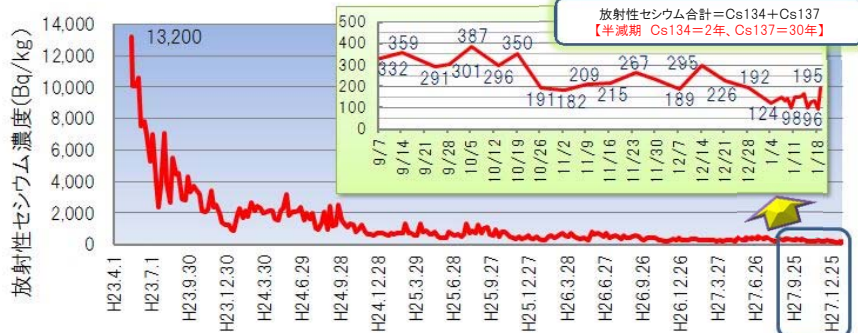


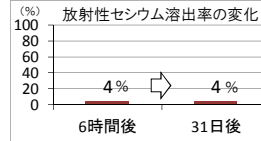
○ 放射性セシウム濃度の推移

○ 時間経過とともに放射性セシウム濃度は低下しています。



○ 放射性セシウムの溶出特性

○ 下水汚泥焼却灰に含まれる放射性セシウムは、水に溶け出しにくい特性があります（溶出率約4%）。



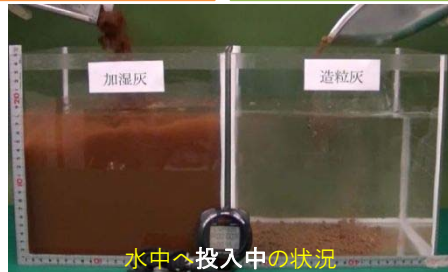
○ 沈降性改善の必要性と効果

○ 下水汚泥焼却灰は、粒子が微細で、水中に沈みづらいという特性があります。
○ このため、本市の水面埋立処分場へは、沈降性を改善したうえで埋立を行う必要があります。

沈降性改善前の状況

沈降性改善後の状況

水中へ投入した直後、焼却灰が水の中で浮遊し、激しく濁った状態になっています

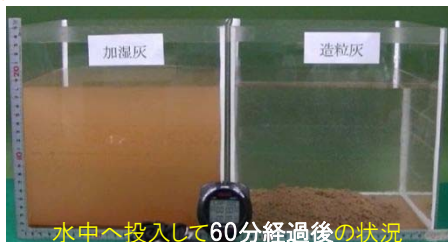


水中へ投入した直後から、沈降性を改善した焼却灰は、ほぼ沈降しています

60分経過後

60分経過後

一部の焼却灰は底に沈んでいます。60分経過後も、濁った状態が継続しています

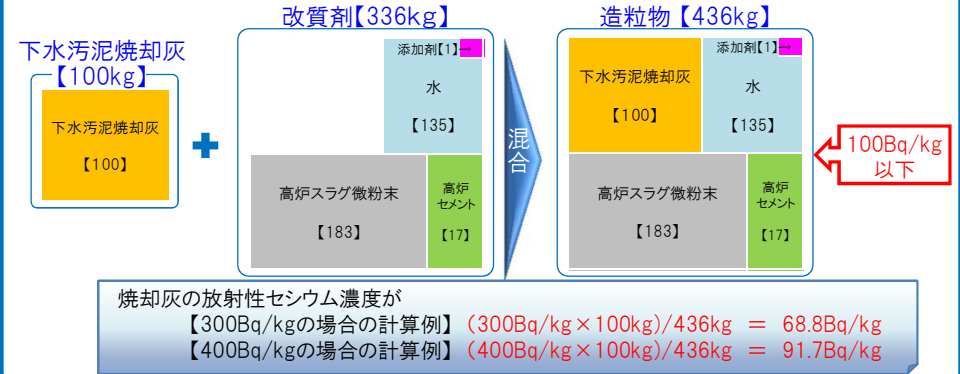


60分経過後、水は澄んだ状態です（20分経過後には、水は澄んだ状態になっています）

○ 沈降性の改善方法

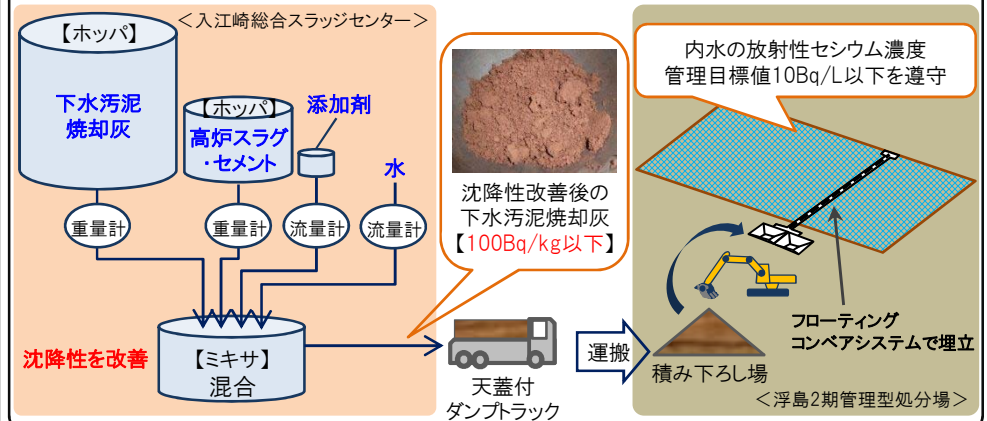
○ 下水汚泥焼却灰に、「改質剤」を加え、ミキサで混合して、沈降性を改善します。
○ 沈降性改善後、100Bq/kg以下であることを確認します。

下水汚泥焼却灰の沈降性改善のイメージ（数値は標準的な配合の場合）



○ 埋立フロー

○ 入江崎総合スラッジセンター内で、沈降性を改善します。
○ 浮島2期管理型処分場の積み下ろし場へ運搬し、フローティングコンベアシステムで埋立てます。



○ 今後の予定

- 【平成28年1月中……港湾関係者説明済み】
- 平成28年2～3月……関係者説明（全町連正副会長会議など）
……（港湾関係者スラッジセンター視察）
- 平成28年4月以降……新規発生灰の試験的埋立開始